

「ピークオイル」を知っていますか。

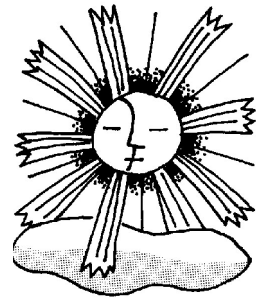
「ピークオイル」は石油の生産量がピークになりそれから減少しはじめるという意味です。

ピークオイルが始まると石油も天然ガスも手に入りにくく高騰します。

日本は資源輸入国ですから深刻なダメージです。

石油にすべてをたよらない生活に変え、

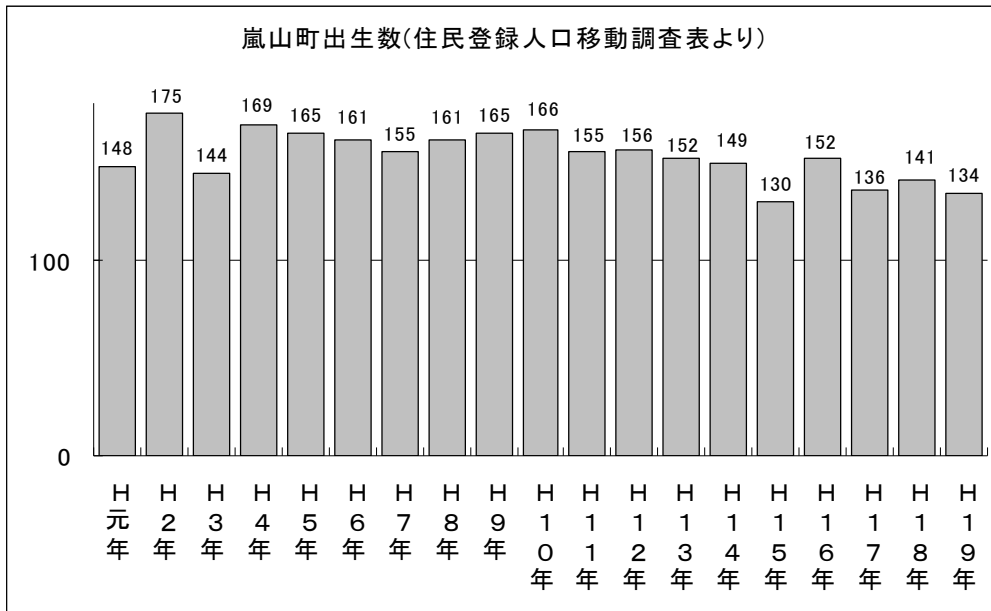
限りある資源を上手に使う方向転換が必要です。



■ 公共施設は、風や昼夜の温度変化・緑・太陽光・太陽熱を生かした設計に、交通は、個人の自動車移動から公共バスや乗り合わせる自動車に変え、必要な施設は街中に集め、歩いて生活できるように。

■ 国財政の危機・町の財源不足を乗り越えるためにも、地球環境の危機への対策を考える中で進めていくべきです。そうでないと将来の人への負担が過酷です。

■ それは、少子化で育ちにくくなる子どもをいかに健康に育てるかにも通じる問題です。



※ 嵐山町で生まれる子どもが少なくなっています。今は義務教育の子は1462人ですが、5年後は100人以上少なくなります。小学校では学年のクラス数が減ります。1学年1クラスだと、子どものクラスでの位置が固定し、子どもの人と関わる力が育ちにくくなります。学校・子ども支援のあり方を見直す必要もあります。

◎ 来年の9月稼働を目指して学校給食センターを町役場の隣に建設します。

給食センターですから、配送時間もありません。

調理時間が制約されるので、今も子どもの好みの献立は、冷凍食品の利用が多いのです。

ご飯と具たくさんスープ等シンプルな献立だと、冷凍食品より地元野菜を多く活用できます。

食の安全と食料の自給を考えると、今後はシンプルな食生活が求められるのだと思います。

◎◎ 食器は家庭で使う磁器などではなく、PEN食器（ポリエチレンナフタレート樹脂）です。

◎◎◎ 軽く落としても割れないのですが、学校給食の食文化への影響は大きいので残念です。

トーク嵐山第3回

「一人暮らしの最期は？」

どんな風に準備すれば安心して生活できるか、一緒に考えてみませんか。

日時 11月15日(土) 1時30分～4時30分

場所 勤労福祉会館

講師 嵐山町福祉課 井上裕美さん・工藤律子さん

